



今年の春遅く、軽トラックに竹、土、肥料そしてゴーヤの苗を持って、福島市から「おだがいさまセンター」に未永九さんが来てくれました。センターの事務室がちょうど緑のカーテンで覆われる様子に、半日かけて竹の支柱を繋ぎ、プランターに土を入れ苗を植え付けていました。その手際のよさと、スタッフは皆テラスで未永さんの手元に見入ってしまいました。夏になり、ゴーヤは見事に緑の葉を茂らせ、いくつもの実をらせました。震災後、福島市内の借り上げ住宅に奥様と暮らしていますが、未永さんの面倒見の良さは、今も昔も変わりません。福島市内の農家の方から休耕田を借りて、浪江町や双葉町から避難している方達6名で「双葉復興農園」という木彫りの素敵なもので立つ農園を始めましたが、6名同じ収量でないと長続きしないので、苗を作つてあげたり草取りや水あげも助け合つたり…と、ここでも未永さんの本領発揮というところです。農地が借りられたのも、若い頃養蚕農家の巡回指導をしていた縁によるもの。人の出会い一つなかりを決して無駄にせず、自分の出来ることを惜しまなく人の役に立てるという姿勢こそが、未永さんの元気の源のようです。それにしても、畑の収穫物は奥様曰く「くれてまわるのが大変」なほどですが、「くれるための検査を受けるのに、ネギを1キロ刻むのが大変」「半分くらいなくなっちゃうんだ」と、未永さんは嘆きます。県北地区の借り上げ自治会の役員としても活躍していますが、「皆が安心して帰れる原発の状況になって欲しい」という言葉には重い響きがありました。(青木)

**おらほの自治会長** このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。  
南一丁目応急仮設住宅自治会長 筒井 康弘さん



富岡では定年退職されるまでの46年間、JRでお仕事をしていた筒井さん。線路と道路の立体交差点の建設など、土木建設関係の仕事を担当していました。今の楽しみを尋ねると「孫の写真を見るだけで明るくなれる」と話してくれました。自宅のお部屋には、写真やお孫さんが描いた絵が飾られています。「南一丁目仮設住宅には、人生のエキスパートがたくさんいて穏やかな空気の中にも活気があるんです」と筒井さんが話すように、南一丁目仮設は、一見静かな雰囲気ではありますが、自分の生活スタイルを大事にする大人の雰囲気があります。「人の真似をするのは嫌だから、この独特的な雰囲気を大切に、役員さん、班長さん、連絡員さん、住民のみなさんと分かち合いながらやっていきたい」と話す表情に、穏やかな口調とは反面、長引く避難生活をみんなでつながって乗り越えていこうという強い決意が込められているように感じました。(吉田)

**みんなの広場** このコーナーでは、町民のみんなの詩、俳句、短歌、写真、手作り品など、みんなの作品を紹介します♪

いわき市の好間応急仮設住宅集会所で作っているのは、多面体の折紙細工です。広告を切る人、折る人、組み合わせる人、役割分担しながら6～7人で作っています。おしゃべりしたり、お茶を飲んだり、笑い声が絶えず、みなさん本当に楽しそうです♪



おだがいさまセンター (富岡町生活復興支援センター)



運営 富岡町社会福祉協議会  
電話 024-935-3332  
FAX 024-935-3334  
ブログ http://odagaisama.com/

場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)  
制作 バズ・クリエイターズ  
ツイッター http://twitter.com/odagaisama  
QRコードはこちる



## いってやっぺみでやっぺ お知らせコーナー



音楽朗読劇  
「富岡の空へ」  
10月17日(水)  
開場: 午後6時30分  
開演: 午後7時  
～『原発難民の詩』より～  
故郷を離れ避難生活を続けていた者達の  
「思い」を、佐藤しげ子さん  
の「詩」にのせて、朗読とピアノと踊りで表現！

内 容	音楽朗読劇「富岡の空へ」
日 時	10月17日(水) 開場: 午後6時30分 / 開演: 午後7時
開催場所	ミューカルがくと館 大ホール 〒963-8851 郡山市開成1丁目1番1号
主 催	朗読集団 10パーセント
お問い合わせ	090-2223-5848(開催事務局)
入 場 料	一般 1000円 / 高校生以下 500円

### ハングル教室

内 容	パク先生から韓国語を学びます。
日 時	10月15日(月)～毎週月曜開催！
開催場所	毎回午後4時～5時 おだがいさまセンター
	* 月の最終月曜日はお休みになります。

### 喫茶つづじ 主催: おだがいさまセンター

● おだがいさまセンター	● 南1丁目仮設集会所(富岡側)
10月13日・18日・ 20日・25日	10月13日・15日・16日・20 日・22日・23日
● 毎回午前10時～12時	● 每回午前10時～午後1時
	* みなさま気軽にお茶を飲みに来てください!(^~^)v

## おだがいさまセンター(富岡町生活復興支援センター)情報紙

# めてやっぺ!

59号

発行 おだがいさまセンター  
運営 富岡町社会福祉協議会  
連絡先 024-935-3332



い」「コミュニティのリーダーを孤独にさせない」「行政とけんかしない」など大変考えさせられる内容で、とても勉強になりました。増田さんのお話では、「避難者はもうお客様ではない!同じ仲間なんだ!」、「いつか震災は忘れ去られる日が来るけど、このことを後世に伝えていくことが大切である!」とこの震災を今後の糧にしていく活動しているということです。今回の視察を通して、中越の震災から復興までの歩みの道筋を丁寧に学び今後の活動につなげていくこと、復興にはどうしても時間がかかりますが「焦らない!」この2つが大切である、と感じました。今後の福島の自治会長の井佐さんのお話では「コミュニティを崩さない」復興に向けてとても大切なことを学んだ視察となりました。

## 住民力アップ講座～中越視察～

9月13日(木)、県生涯学習課主催の住民力アップ講座で、各仮設の自治会長、借上げの自治会役員、各仮設の連絡員と一緒に中越視察を行いました。今回の視察は、中越が震災から復興、今現在の状況に至るまでの歩みを現地視察することによって、福島の今後の復興につなげる目的で開催されました。新潟県中越地震で被災した小千谷市や山古志村の各地の視察に行きました。その中で浦柄の自治会長の井佐 忠さんのお話や柏崎で活動している「むげん」の増田 昌子さんからお話を聞くことが出来ました。浦柄の自治会長の井佐さんのお話では「コミュニティを崩さない」復興に向けてとても大切なことを学んだ視察となりました。

## 富岡町被災者支援連絡協議会

9月18日(火)、「おだがいさまセンター」で富岡町被災者支援連絡協議会の研修会が開催されました。今回の研修は、現場で直接住民のみなさんとふれ合う仕事をしている、保健師、生活支援相談員、各仮設の連絡員、サロンの運営スタッフ、おだがいさまセンターの職員を対象に行われました。研修内容は「各々の機関で企画している行事等に男性の参加が少ないとテーマに、参加しない理由を考え、個々の個性や思いを大切にしながら上手に話を聞き出し、心を通じ合わせる対人援助技術実践の方法を学びました。どんな声掛けをしたら本音を聞き出せるのか、目線は?仕草は?頼れるスタッフとなるためには?…。ロールプレイング(役割演技)の実践を通して、声掛けの難しさや方法などを改めて考え直した一日となりました。



テーマについてお互いに話し合っています。



## FM便り

### ～パーソナリティ紹介～ 永瀬 真理子さん

「おだがいさまラジオランド」(周波数76.9MHz、毎週月曜日～金曜日の午後7時～9時に生放送中)水曜日担当の永瀬 真理子さん。永瀬さんは、郡山市内の結婚式場で司会のお仕事もされています。今年6月に日本代表の長友選手が「おだがいさまセンター」に来てくれた時のイベントや、今年2月の「おだがいさまセンター」の開所式でも司会をしてくれましたので、ご存知の方も多いと思います。放送では、2

### 「朗読の小部屋」バトンタッチ!

毎週月曜日～金曜日の12時04分頃から放送している「朗読の小部屋」では、福島民友新聞に連載されている村上 龍さんの小説「55歳からのハローライフ」を、1日分ずつ放送しています。10月11日から第3話「キャンピングカー」

おだがいさま FM 番組表	日	月	火	水	木	金	土
8:00							
9:00		今泉 静香	青木 淑子 増子 翔平	吉田 豊	平岡 知子		
12:00							
12:10						12:00 とみおか76.9 吉田恵子	
19:00							13:00
21:00	みちのく ボンガーズ		おだがいさまラジオランド(生放送)	藤原 一裕 鈴木 美伸	ぺんぎんナツツ		

### メッセージ等受付

郵便 〒963-8041  
郡山市富田町字若宮前32「おだがいさまFM」宛  
FAX 024-935-3334  
メール 下記「おだがいさまFM」HP内のメールフォーム  
より送ってください  
「おだがいさまFM」HPアドレス <http://odfm.net/>

### おだがいさま工房便り

毎週色々な素材を用いて染めの研修が行われていますが、今回は皆さんのがよくご存じの背高泡立草を用いて染めました。あの草からきれいなオレンジ色に布が染まりました。研修生も鮮やかな色に染まるのを見てびっくりの様子でした。研修日以外の日の自主研修も回が増すごとに人数も増え、とても意欲あふれる日々を送っています。



### おだがいさまファーム通信

9月10日(月)、おだがいさまファーム、畑隊本格始動!! 富田応急仮設住宅東側の畑に植えた野菜がすくすく育っています。「畑で野菜を作れる喜び」「土にふれる幸せ」を畑隊のみなさんが感じており「毎朝5時に起きて水やりしててるんだ!」「もうこんなに大きく育ったんだぞ!」と畑隊のメンバーの顔はとても幸せそうでした。なお、(株)クボタ様より寄贈して頂いた耕うん機は、先日畑隊で利用規定を話し合いました。畑隊募集は随時行っています。初心者、経験者どちらも大歓迎です。畑隊に入つて、みんなでおいしい野菜を作りましょう!!



水やりは大変だけれど、ぐんぐん大きくなれよ～♪

TEL 024-935-3332

### 速報「いわき市在住富岡町民すみれ会」設立!

9月15日(土)、いわき市内の借り上げ住宅にお住まいの富岡町民を対象とした「いわき市在住富岡町民すみれ会」が設立しました。すみれ会の今後の活動は、次号以降の「みでやつペ!」でお伝えしていきます。

問合せ:いわき市在住富岡町民すみれ会 事務局

TEL 0246-38-8017(渡部自工)

### よさこい披露～チーム富岡「さくらYOSAKOI」～



迫力ある演舞に大興奮!

9月9日(日)、富田町応急仮設住宅の集会所前でチーム富岡「さくらYOSAKOI」による演舞が行われました。本来、8月11日の「郡山in夏祭り」の“トリ”で踊る予定でしたが、豪雨で中止になり今回行う事になりました。多くの住民の方々が集まり、チーム富岡「さくらYOSAKOI」の迫力ある踊りを見て、みなさんとても感激し喜んでいました。最後には観客のみなさんも一緒に踊る場面もあり、楽しい時間を過ごすことができました。



### 県生涯学習講座～第2回～「会津の歴史に学ぶ故郷回生!」開催!

9月10日(月)、「おだがいさまセンター」星 亮一さんで、県生涯学習課主催「避難者の学びの支援」として2回目の生涯学習講座が開かれました。今回は「会津の歴史から私たちの今後の復興を考える」という内容で「NPO法人フクシマ未来戦略研究所」理事長の星 亮一さんにお話を頂きました。幕末の会津、大きく時代が変わる中、戊辰戦争で故郷を追われ、異郷の地に移り住んだ会津の人々が、どのように会津の教えや文化を後世に伝え、再建していくのかを参加者に伝えていました。福島の「復興」に向けて学ぶことが多い学習講座になりました。

### 足湯隊活動中!

9月16日(日)・17日(月)、柴原萩久保・熊耳



### ハワイアンキルト作り



9月20日(木)、緑ヶ丘応急仮設住宅にて仮設の住民の方を対象に「初めての方でも出来るハワイアンキルト作り」が開催されました。ハワイアンキルト作りの講師には「郡山アーバンデザイナー」復興支援室の宗像智加枝さんを迎えた。宗像さんが参加者1人ひとりに基本的な作り方を丁寧に教えて、みなさん丁寧な指導に感謝しながらキルト作りを行っていました。短い時間でのキルト作りだった為、残念ながら時間内には完成しませんでしたが、自宅に持ち帰り空いている時間を利用し作成を続けると参加者同士話していました。完成するのが楽しみですね!

### 熊本の子どもたちからプレゼントが届きました

今年4月、「おだがいさまセンター」に熊本から義援金や絵葉書などを届けに来てくれた興梠英一郎さんの奥様・聰美さんは、熊本市の保育園で保育士をしています。その保育園の子どもたちが、仮設住宅のおじいちゃん・おばあちゃんのために一生懸命作ってくれたしおりを、聰美さんが「おだがいさまセンター」に送ってくれました。しおりには「いつまでもおんきで」と、子どもたちが覚えたてのひらがなで書いたメッセージが入っています。このしおりは、9月17日(月)、富田仮設の敬老会に参加していた方々にプレゼントしました。

